

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 ぱんでい		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 8日 ～ 2026年 1月 16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 11月 6日 ～ 2025年 11月 13日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが安心して過ごせる環境づくりを行っている。	<p>こどもの障害特性に応じて複数の部屋を使い分けている。また、日々の状態に応じて、使用する部屋や活動内容を変更している。</p> <p>こどもにわかりやすく、かつ見通しが持てるように、個人に適した視覚的な支援(絵、写真、文字等による提示)を積極的に取り入れている。</p>	<p>支援者が変わっても同じ支援を提供できるように、支援手法やツールの標準化を図る。</p> <p>また、ご家庭等でも活用できる内容については、ご家庭にフィードバックを行う。</p>
2	こどもたちが将来、社会の一員として自立した生活を送れるよう、卒業後の生活を見据えた支援を行っている。	<p>学校卒業後の福祉施設においては、現状より少ない支援者による支援が想定されることから、支援者に頼りきることなく、スケジュールに沿った活動ができる力を育むように支援をしている。また、作業所などで働くための基礎的な能力を身につける為に、手指を使った作業や長時間の作業を取り入れている。</p> <p>地域生活における楽しさの体験を深めることと社会性を獲得するために、周辺の店舗への買い物や歩行、公共施設の利用などを支援に取り入れている。</p>	<p>保護者の想いや支援者の思い込みで将来の姿を決めつけてしまわないように、こどもの意見を丁寧に拾い上げて、本人の意思を尊重した支援を実施する。</p>

3	<p>こどもが、家庭でも安心して過ごせるように保護者と情報を共有している。</p>	<p>家庭でも取り入れやすい視覚支援等の環境整備を提案したり、求めに応じて支援ツールを作成して提供している。</p>	<p>保護者との情報共有を進めて、本人が楽に過ごせるように、支援手法や提供する支援ツールを増やしていく。</p> <p>また、求めに応じてご自宅に訪問して、より具体的な支援手法や支援ツールの使い方等の助言を行う。</p>
---	---	--	--

	<p>事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>経験年数が深い職員の高年齢化が進んでいる。職員が退社しても支援の質が低下しないように準備をしていく必要がある。</p>	<p>ここ数年、新規職員の入社が進んでいない。地域内の人手不足の影響だけでなく、仕事の内容や勤務時間帯にも課題があると考えている。</p>	<p>仕事の内容や勤務時間帯を細分化して、働きやすい職場環境整備を進める。</p> <p>あわせて、支援手法や支援ツールの標準化を進めて、誰でも同じ支援が提供できるようにする。</p>
2	<p>アンケートにはない項目であるが、保護者の就労を優先した場合に開所時間が短いと考えている。（現状の開所時間は、平日は放課後から17時30分まで、学校休日は9時30分から17時まで）</p>	<p>開所時間を延ばすためには、職員数の増員が必要になるが、1で記載の通り、職員の採用が難しい状況が続いている。</p> <p>また、開所時間を延ばしても得られる報酬が増えないことから、対応する職員の人件費相当が持ち出しになってしまうことも課題である。</p>	<p>要因解決が困難な状態であるので、すぐに開所時間を延ばすことは難しいと考えている。</p> <p>現状、やむを得ない事情がある場合には個別対応を行っており、引き続き個別対応を行うことで理解を求める。</p>
3	<p>社会に出てからの役に立つ力が身についているのか、具体的な評価ができていない。</p>	<p>当市及び近隣自治体にある成人支援施設の実態についての理解が不十分である。また、成人支援施設との連携もとれていない。</p>	<p>成人支援施設を訪問し、実際の施設運営や利用者の様子を現認する。加えて、過去に当事業所を利用されていた方や保護者を尋ね、現状や卒業までに身につけることが望ましい力や経験当についての意見を頂戴する。</p> <p>これらの活動から得た知識や経験を日々の支援に活用する。</p>